

3. 方針と教育の特長

3-1 全学科共通アドミッションポリシー（A P）入学者受入れの方針

本校では、全学科共通のアドミッションポリシーおよび志望する学科の教育目標や教育課程の理解、入学後や将来についての目的意識・熱意・意欲を持つ者を求めることとし、その上で、本校のすべての募集活動（オープンキャンパス、入試、各種ガイダンス等）において、アドミッションポリシーにもとづいた説明と実施を行います。

- ①夢や目標を持ち、具体的な知識・技術の修得、資格の取得、作品制作等、積極的な勉学意欲を持つ者。
- ②社会の一員として、職業・仕事を通して社会の発展に貢献したいと考える者。
- ③異分野、異文化交流、産業界・地域との協働など、幅広く物事に興味を持つ者。
- ④目標に向かって粘り強く努力を続けることができる者。

3-2 全学科共通ディプロマポリシー（D P）学位授与の方針

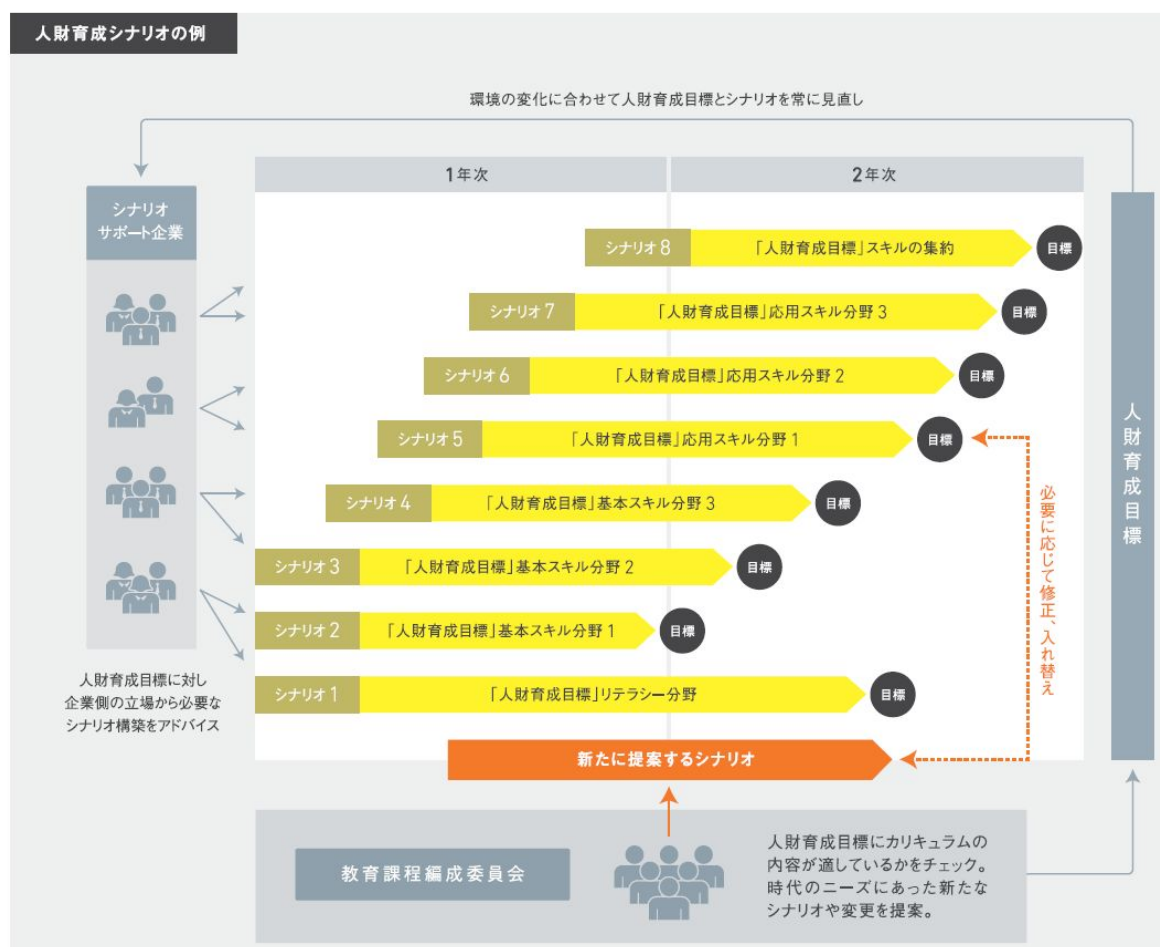
本校では、産業界の将来的な人材ニーズを常に捉え、次に掲げる職業人として必要な能力を「ミライスキル」と定め、それらを育て、それら能力を有する者に対して卒業を認定します。

- ① **よりよい未来を想像し、実現するための知識や技術を有する人材**
産業界で求められる、人材像に向けて職業実践的な専門知識と技能。
※各学科において、具体的に求められる職業実践的な能力を定める。
- ② **互いの知識や技術を合わせて、未来のために解決していく力を有する人材**
多様な人々とともに、目標に向けて協働する力。
※「社会人基礎力」の「チームで働く力（チームワーク）」に該当する能力。
- ③ **未来に希望を持って、あきらめずに取り組む意欲を有する人材**
一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く考え抜き、取り組む力。
※「社会人基礎力」の「前に踏み出す力（アクション）」、「考え抜く力（シンキング）」に該当する能力。

3-3 全学科共通カリキュラムポリシー（CP）教育課程の編成の方針

本校では、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成します。また、各授業科目については、産業界・企業と創る「人財育成目標」に基づいた「人財育成シナリオ」を構築し、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とします。さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴収する「教育課程編成委員会」を毎年開催し、カリキュラムの定期的な見直しを行います。

- ①高い専門知識・技術力の養成と、企業と連携した職業実践的な教育課程とする。
- ②社会人としての基礎的・汎用的能力養成と、人間性を高める教育課程とする。
- ③自発的な学びと成長を促し、持続的な学修効果が得られる教育課程とする。



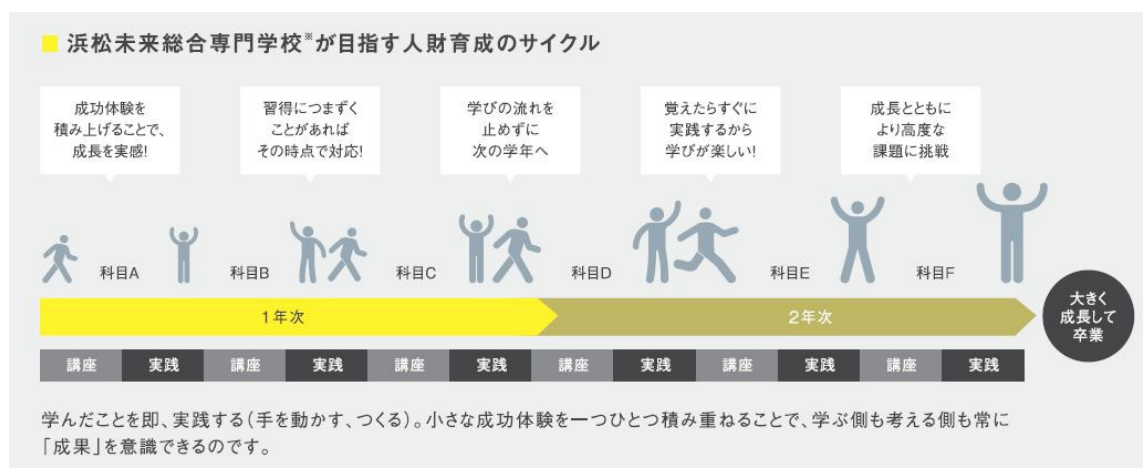
3－4 全学科共通アセスメントポリシー教育成果の方針

本校では、教育の質保証の一環として、教育活動が、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの3つのポリシーに基づき適切に機能しているかを、多面的、総合的に点検・評価に、必要な改善に繋げます。点検・評価にあたっては、学修の到達度を、期間レベル（学校全体）、教育課程レベル（学科）、授業科目レベル（科目担当者）の各レベルで以下のような方針で検証します。

評価時期 レベル	入学前・入学直後 (APを満たす学生が入学しているか)	在学中 単位認定・進級判定 (CPに基づいて学習が進められているか)	卒業時（卒業後） (DPを満たす人財になったか)
機関レベル (学校全体)	各種入学試験結果 入学生アンケート	成績総得点 修得単位数 休退学率 学習到達度 学生満足度調査	卒業率 就職率・専職率 卒業生アンケート 卒業後追跡調査 学修到達度
教育課程レベル (学科)	各種入学試験結果 入学生アンケート	成績総得点 成績分布 学生満足度調査 資格取得実績 コンテスト・コンペ 企業・地域連携 PBL 進級率	卒業率 資格取得者数 卒業生アンケート 就職率・専職率 卒業後追跡調査
授業科目レベル (科目担当者)		成績評価（単位取得率） 成績分布 出席状況 授業評価アンケート	

3-5 人財育成サイクル

一人ひとりの学び方や成長の仕方も変わります。本校では、より短いサイクルで成長をサポートする仕組みを実践します。前期、後期をより細かく短い期間に分けて、学生の学びへの意欲を受け止め、その成果を実感するサイクルを繰り返すことで常に学生に刺激を与え続けていきます。成功体験とつまずきに気づく機会を増やすことで、高度な課題へと誰もが挑んでいける新しい学びのサイクルを回していきます。



3-6 学生サポートプログラム

まだ誰も経験したことのない未来を生きるプレイヤーとして、互いにかかわり合いながら、あらゆる変化に対応していくためのスキルを身につけます。

【みらい考房】

○様々な学科の学生たちがひとつのチームになって、地域社会の課題に挑む

4つのカレッジの垣根を越えて活動に取り組むプロジェクト型のカリキュラム。それぞれが得意分野を活かしながら、地域のために何ができるのかを考えます。考え方も立場も、身につけているスキルも違うからこそ、新しい発見や学びがあります。

【みらいバリューアッププログラム】

○学科を越えて、必要なスキルを求めて学び合う仕組みを実現

○自分自身の付加価値を自分で選択し、社会へ

12の学科が集まる総合専門学校の強みを活かし、一人の人間として、社会人として、付加価値を高めるサポートを展開。カレッジや学科の枠を越えて一人ひとりの挑戦に応えます。